

令和3年12月3日

くしろバス株式会社 阿寒バス株式会社
根室交通株式会社 北海道北見バス株式会社
網走バス株式会社 斜里バス株式会社
北海道拓殖バス株式会社 国土交通省北海道運輸局

道東におけるバスの路線案内、チケットの予約・購入及び 決済を一括して行えるWEBサイトがスタートします

～道東のバス路線全体が一つのネットワークとなるとともにチケットレス乗車も可能となります～

北海道運輸局と道東バス事業者7社は、WILLER(株)とともに、道東エリアのバスの路線案内、予約・購入・決済、チケットレス乗車を一括して行えるWEBサイトを本日リリースしました。

このWEBサイトにより、道東エリアの空港連絡バス、都市間バス、観光利用の多い路線バスを一つにまとめて道東のバス全体をネットワーク化します。さらに、バス・鉄道で巡るモデルコース等について情報発信を行い、二次交通事業者と航空・空港・観光関係者が協働するモデルの構築を目指します。

1. 調査の背景

昨年度北海道運輸局が行った調査により、道外・インバウンドの道東旅行者の約3割が公共交通のみで移動しており、また、この層は女性や若者が多く、WEB活用による旅行情報収集・予約手配が主流となっている一方、自動車利用者に比べて周遊範囲が狭いことがわかりました。※

これを踏まえ、道東空港間の二次交通を担う複数バス路線が一体的にオンライン予約・決済可能なWEBサイトを構築することにより、コロナ後も見据え、非接触キャッシュレス決済対応を行いつつ、旅行者の空港間周遊の促進、観光需要の取り込みによる持続可能な公共交通網の構築を目指した実証調査を行います。

※資料別紙3「北海道内空港民間委託を契機とした二次交通活性化に関する調査」を参照願います。

2. 調査の内容

道東エリアにおける二次交通に関する特設サイトを開設、サイト内でバスの路線案内、バスや鉄道で巡るモデルコースの確認、路線バス等のオンライン予約・決済、スマートフォンでのチケットレス乗車を可能とするとともに、バス、鉄道、航空・空港・観光関係者の協力した利用者への周知を実施。これによる公共交通の利用促進効果、周遊促進効果等を検証。

○WEBサイト

「バスや鉄道で旅するひがし北海道交通ネットワーク」

サイトURL「<https://travel.willer.co.jp/campaign/hokkaido/>」資料別紙2を参照願います。

○対象路線

道東エリアの空港連絡バス、都市間バス、観光利用の多い路線バス

資料別紙1「2次交通ネットワーク」を参照願います。

○実証期間

1月1日から※一部路線では、運行開始日が異なります。

3. 協力事業者

くしろバス(株)

阿寒バス(株)

根室交通(株)

北海道北見バス(株)

網走バス(株)

斜里バス(株)

北海道拓殖バス(株)

北海道旅客鉄道(株)

全日本空輸(株)

日本航空(株)

(株)AIR DO

Peach Aviation(株)

北海道エアポート(株)

中標津空港ビル(株)

(一社)ひがし北海道自然美への道DMO

北海道

北海道運輸局

WILLER(株)

【問い合わせ先】

北海道運輸局交通政策部

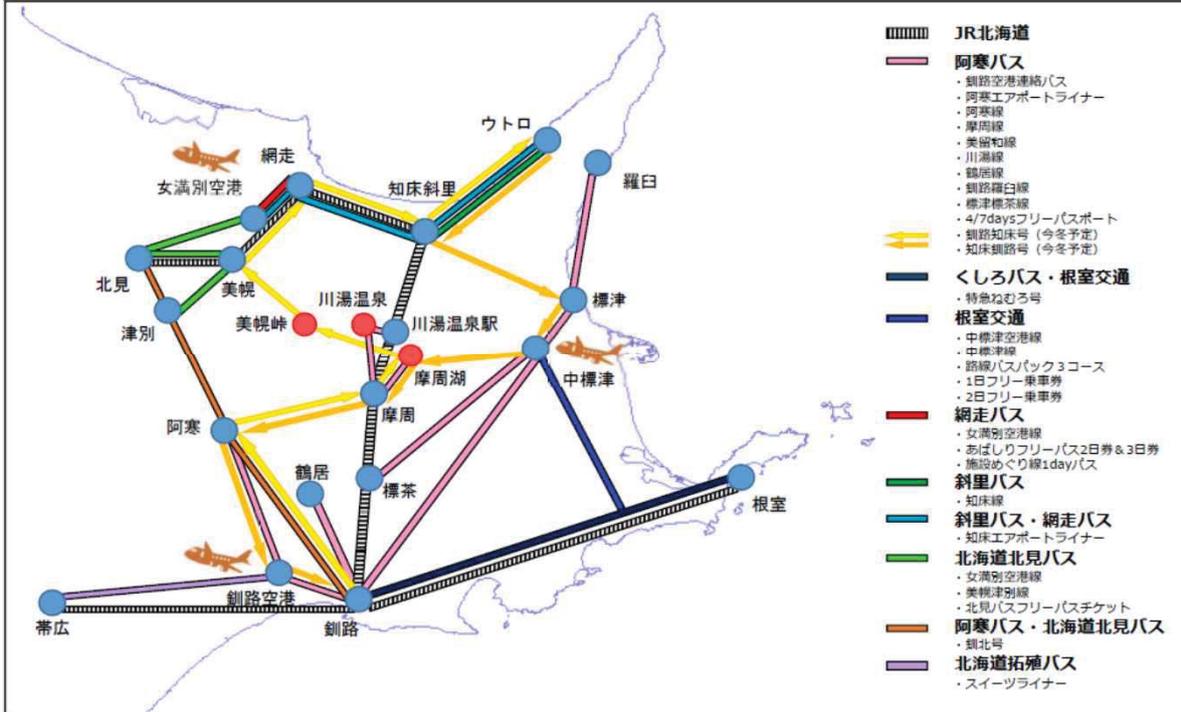
次長 山本・交通企画課 平田

TEL: 011-290-2721 (直通)

FAX: 011-290-2716

2次交通ネットワーク

- ・バス事業者7社のバス路線を一体的なネットワークとして旅行者に訴求
- ・空港連絡バス、都市間バス、観光利用の多い路線バスなど、乗合バスサービスを中心に、道東エリア全域をカバー
- ・鉄道・地域内交通サービスとの情報連携等も検討



WEBサイトのイメージ

- ・スマートフォン上で複数バス路線等についてまとめてオンライン予約・決済が可能
- ・出発・目的地や、空港等から路線の検索・予約が可能
- ・空港からのおすすめモデルコース等の表示
- ・利用者は、スマートフォンでチケットレス乗車が可能





WEBサイトの特徴

- 1. ひがし北海道の交通ネットワークがイメージできる**
 - ・複数事業者の路線を一つのネットワークとして一体的に表示
- 2. ひがし北海道の交通(乗合バス)が探しやすい**
 - ・出発地エリア・空港の場所・観光地・目的地からバス路線が検索できる
- 3. おすすめ観光地や体験から交通機関をレコメンドする**
 - ・おすすめモデルコースからおすすめアクセスを紹介
 - ・観光スポットを紹介
- 4. 電子チケットでスマートに乗れる**
 - ・スマートフォンで予約・決済・提示でバスに乗車可能

2. ひがし北海道の交通(乗合バス)が探しやすい

・出発地エリア・空港の場所・観光地・目的地からバス路線が検索できる



- 出発地・出発日から探す
- 出発地エリアから探す
- 空港の場所から探す

出発地エリア

網走	北見	知床	ウトロ
摩周	中標津	阿寒	帯広
釧路	根室		

網走エリア発の路線一覧

網走 → 女満別空港 150円- 予約

北見エリア発の路線一覧

北見 → 女満別空港 400円- 予約

北見 → 津別 600円- 予約

北見 → 釧路 1,000円- 予約

知床エリア発の路線一覧

知床 → 釧路 (知床観光号) 1,000円- 予約

知床自然センター → 斜里(バスターミナル) 150円- 予約

ウトロエリア発の路線一覧

ウトロ温泉バスターミナル → 女満別空港 140円- 予約

摩周エリア発の路線一覧

摩周湖 → 摩周駅前 (摩周線) 160円- 予約

摩周駅 (美幌駅前) → 川湯 200円- 予約

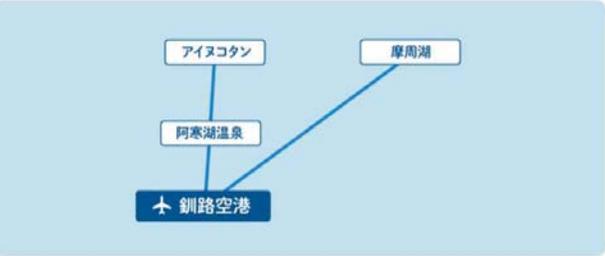


- 出発地・出発日から探す
- 出発地エリアから探す
- 空港の場所から探す

空港の場所

釧路空港	中標津空港	女満別空港
------	-------	-------

釧路(くしろ)空港からバスで行く観光名所



釧路空港～阿寒湖温泉

阿寒湖温泉 (あかんこおんせん)
美しい湖と山、そして美しい湖と山とで作りだされた自然の恵み。北見でも有数の観光地です。

所要時間 約1時間15分
利用する交通機関 バス

おすすめのアクセス

釧路空港 → 阿寒湖温泉 (阿寒エアポートライナー) 870円- 予約

釧路空港～摩周湖

摩周湖 (ましゅうこ)
自然の恵みと作りだされた美しい湖と山とで作りだされた自然の恵み。北見でも有数の観光地です。

所要時間 約2時間30分
利用する交通機関 バス 1,045円/日 約1時間20分

おすすめのアクセス

釧路空港 → 釧路 (釧路空港連絡バス) 950円- 予約

釧路駅 → 摩周駅 (JR) JR北海道



観光地・目的地のあるエリア

網走	北見	知床	ウトロ
摩周	中標津	阿寒	帯広
釧路	根室		

北見周辺エリア



北見行きの路線一覧



女満別空港 → 北見 400円- 予約

津別 → 北見 600円- 予約

釧路 → 北見 1,000円- 予約

現地周遊PASS

3. おすすめ観光地や体験から交通機関をレコメンドする

- ・おすすめモデルコースからおすすめアクセスを紹介
- ・観光スポットを紹介

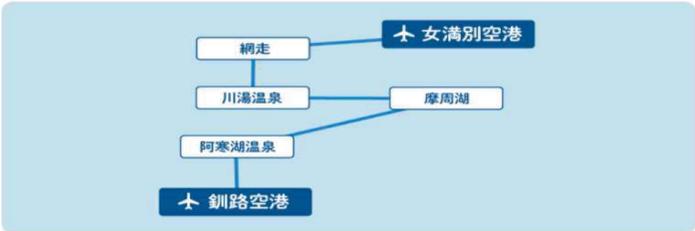


おすすめ3コースをご紹介

① 釧路空港から阿寒湖・摩周湖・川湯・網走を3日間で満喫するコース



釧路空港から入ると阿寒湖、摩周湖、川湯温泉など一帯は行ってみたいひがし北海道の観光地をバスや鉄道で効率よく覆れます。アイスコタンやアイスシアターでの文化体験、摩周ブルーで知られる神秘的な阿寒湖の景観、阿寒湖や川湯温泉ではおいしい料理と温泉をお堪能いただけます。また網走監獄やオホーツク流氷館では自然や歴史を学ぶこともできるなど様々な体験が可能です。



おすすめのアクセス

1日目

- 釧路空港着 (9:00頃)
- 釧路空港 (10:00頃) → 阿寒湖 (11:30頃) 870円〜 予約 >
- 阿寒湖・アイスコタン・アイスシアターなど
- 阿寒湖温泉で宿泊

2日目

- 阿寒湖 (10:00頃) → 摩周湖 (11:30頃) 160円〜 予約 >

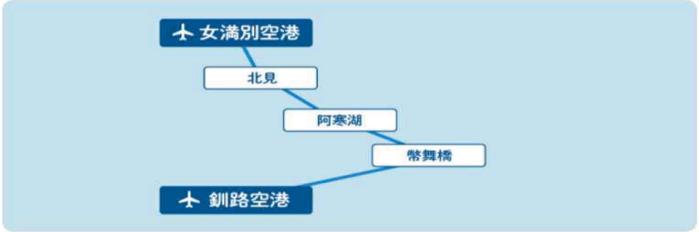
3日目

- 川湯温泉 (10:30頃) → 網走 (12:00頃) JR北海道 >
- 網走観光 網走監獄・オホーツク流氷館など
- 網走 (17:00頃) → 女満別空港 (17:40頃) 150円〜 予約 >
- 釧路空港出発 (18:00頃)

② 女満別空港から3日間で北見・阿寒湖・アイスコタン・釧路を楽しむコース



女満別空港から釧路空港まで3日間、バスと鉄道で東北海道の観光地を満喫するコースです。北の大地ならではの小樽産ゆめしほ産物、またアイス文化を堪能できるアイスコタンを体験。阿寒湖温泉でも使われているアイスコタン産物を使ったお土産や、ひがし北海道の魅力が3日間で十分に楽しめます。



おすすめのアクセス

1日目

- 女満別空港着 (8:45頃)

調査の趣旨・目的

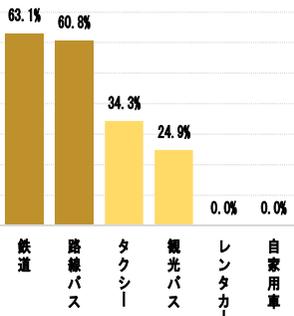
道内7空港の一括民間委託を契機として、空港間周遊を含む空港二次交通の現状や課題について、道東エリアを対象に分析を行った

旅行者行動実態分析_属性分析

- ✓ 道東訪問客のおよそ3割が、公共交通だけで移動する「公共交通グループ」であった
- ✓ 公共交通グループは、旅行への期待度・満足度ともに高い
- ✓ 公共交通グループは、女性や若者が多い傾向も見られた

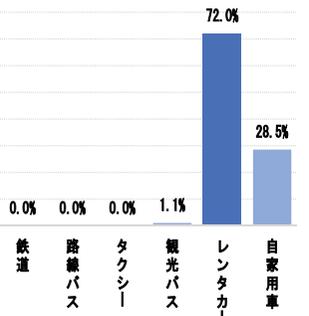
公共交通グループ 公共交通のみを利用した旅行者

公共交通グループ n=699



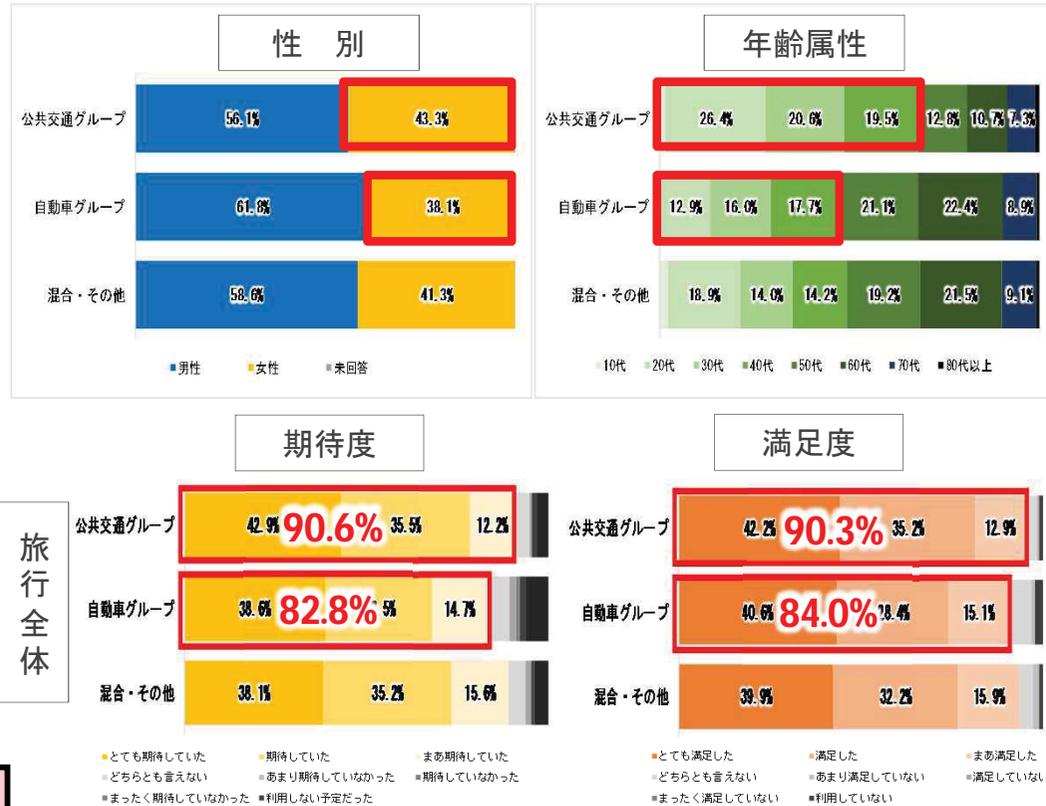
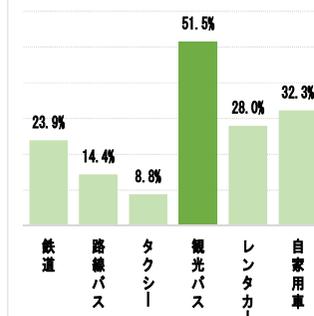
自動車グループ 自動車(レンタカー・自家用車)のみを利用した旅行者

自動車グループ n=821



混合グループ 公共交通と自動車の両方を利用した旅行者

混合グループ n=724



- ✓ 道東訪問客の3割を占め、女性・若者が多く、期待度・満足度が高い「公共交通グループ」は重要なターゲットといえる
- ✓ 今後、自動車免許の保有率が低いこれらの世代や国内での運転が難しい海外客の道東への呼び込みのためにも公共交通での道東周遊を促進していくことが重要

- ✓ 情報収集では、WEBサイトが主流となっており、SNSやブログ、口コミも利用されている
- ✓ 移動手段手配では、交通事業者のネット予約が主流となっているが、道外客-公共交通グループでその傾向が強い。海外客は事前手配なしの割合が大きい
- ✓ 宿泊施設手配では、宿泊施設サイトでのネット予約が主流となっており、次いで旅行会社での予約が多く、道外客・海外客ともに公共交通グループでその傾向が強い。海外客ではOTAの利用割合が高い

道内移動手段の手配方法

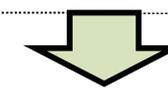
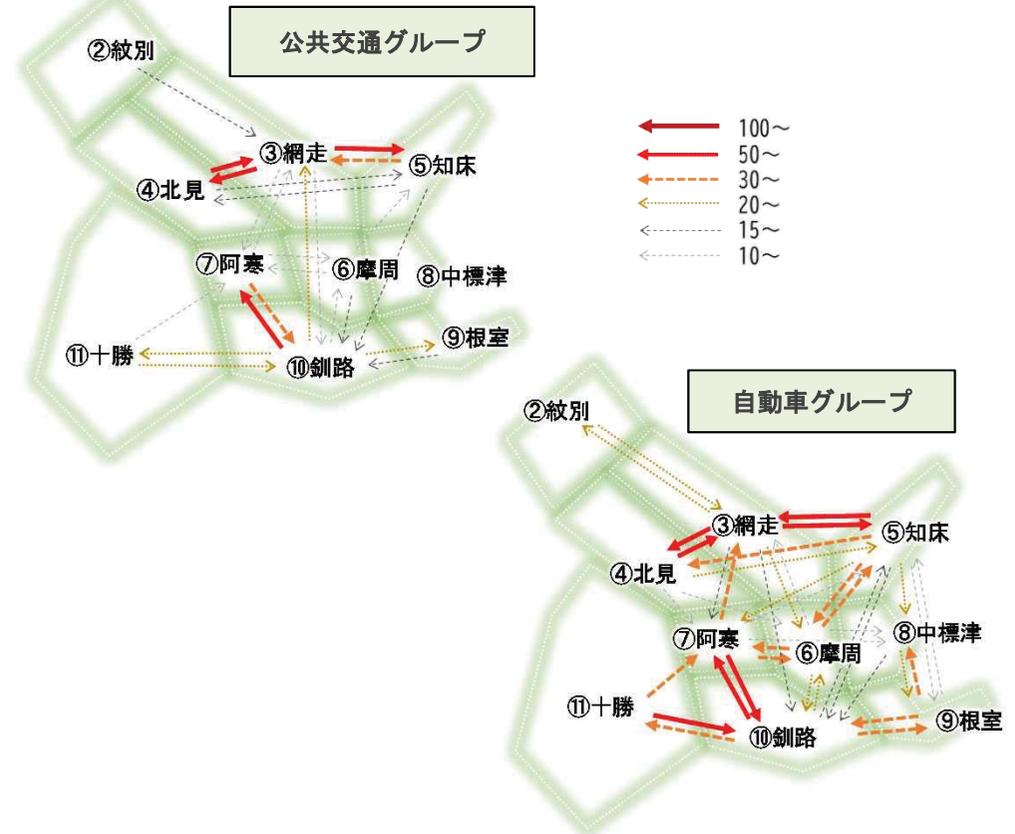
	道外客	航空・鉄道会社などに直接電話、出向いた	航空・鉄道会社などのネット予約	旅行会社の窓口	旅行会社のインターネットサイト	OTA (オンライン型のみで営業する旅行会社)	家族、友人、知人に依頼	事前手配はしていない	その他
道外客	公共交通グループ	9.6%	67.4%	4.4%	5.2%	3.0%	4.4%	3.7%	2.2%
	自動車グループ	5.0%	57.8%	3.1%	7.4%	3.1%	9.3%	9.3%	5.0%
	混合・その他	14.3%	46.9%	0.0%	15.3%	0.0%	9.2%	6.1%	8.2%
海外客	公共交通グループ	5.8%	23.4%	11.7%	8.0%	3.6%	8.8%	32.8%	5.8%
	自動車グループ	9.6%	25.0%	3.8%	13.5%	3.8%	9.6%	11.5%	23.1%
	混合・その他	6.0%	31.3%	4.5%	6.0%	4.5%	10.4%	20.9%	16.4%



WEB等での情報収集・予約手配が主流となっており、公共交通グループにはその傾向が強い
道東誘致・公共交通利用促進に向けたアプローチとしてはWEB活用が必須であり、その際、個々の宿泊施設や交通事業者が自ら積極的にWEBを活用することが重要となっている

- ✓ 道東内部での動きは、自動車グループの方が多様な周遊を描いている一方、公共交通グループは、一部移動が少ない区間があり、周遊があまりなされていない

道東内部でのブロック間移動



公共交通グループの道東周遊を促進していくためには、
・フリーパスや予約システムの構築など、既存交通のネットワーク強化
・自家用有償旅客運送の活用など、ネットワークを補完する交通網整備が求められる

- ✓ インアウトを同一空港で行う旅行者が多数だが、移動先は空港近接エリアが多く、宿泊数も2～3泊となっている
- ✓ インアウトが異なると、移動先が道東全体周遊となり、宿泊数も3～4泊となる

インアウト空港利用状況（縦軸：イン、横軸：アウト）

	新千歳空港	女満別空港	帯広空港	釧路空港	紋別空港'	中標津空港'	旭川空港	その他空港	その他港湾・駅
新千歳空港	719	37	40	34	5	9	18	19	8
女満別空港	32	229	4	19	1	7	27	7	2
帯広空港	11	9	195	7			15	3	1
釧路空港	36	36	5	243		6	7	7	1
紋別空港'	3	10		2	12			8	0
中標津空港'	1	3	1	5		42		0	0
旭川空港	16	16	6	4	1		41	9	1
その他空港	21	4	5	6	0	1	15	11	0
その他港湾・駅	12	1	4	5	0	0	0	2	177

ブロック間移動実態



各空港利用者の移動実態を踏まえた、広域公共交通ネットワークの充実に向けた検討が必要
 特に、滞在日数を増やすにはイン-アウト別の旅行者を増やしていく必要があり、そのためには道東全体を周遊できる公共交通環境整備が必要

空港二次交通活性化の検討の方向性【課題】

- ✓ 道東旅行者のうち3割が「公共交通グループ」に属し、また、若者や女性が多く有望な層であるが、「自動車グループ」に比べて旅行日程が少ない傾向にあり、さらに新千歳空港を利用して道東を訪れている傾向もあることから、道東空港に直接インアウトをさせるための航空ネットワークの充実や、道東空港間の二次交通の利便性向上が必要
- ✓ 旅行情報検索や移動手段等の手配においてWEB活用が主流となっていることから、道東誘致に向けたアプローチ策としてはWEB活用、とりわけ宿泊施設や交通事業者のサイトへの直接アクセスに向けたWEB強化が求められる
- ✓ 「公共交通グループ」は道東での周遊が少ない傾向があることから、滞在日数を増やすためにも既存交通のネットワーク強化や新たな交通網の整備による周遊環境の整備が求められる
- ✓ インアウト相互利用によって滞在日数が増える可能性があることから、空港・航空と連携した空港間二次交通の強化が求められる